

居城跡の豊富小学校（始良市）

歴史学び愛郷心養う

始良市平松の豊富小
学校は、島津義弘が築
いた平松城跡に立つ。
義弘時代の面影を深
刻む学びやへ毎日通う
児童は誇りに感じ、郷
土史の勉強に熱心だ。
1554年、19歳の
義弘は岩剣の戦いで初
陣を飾り、岩剣城に在
る。

住したのは生涯で3度
しかなかったが、敵中
突破した関ヶ原合戦
後に在城しており、戦
で皆さんの気分を癒や
すのに居心地がよかつ
たようだ。義弘夫人や
娘の御隠居地様も平松城
で晩年を過ごしてい
る。

一校長(58)は教育に生
かそうと、この地に開
かれた藩校にあやかり、郷土史を学ぶ地域
塾振業館を昨年立ち上
げた。愛郷心を養い、
義弘のように「郷土に
貢献できる子どもを育
みたい」と願う。
5年の高橋萌葉さん
(10)は「城跡の学校で
勉強できるのはすごい
と思う。義弘のことを
もっと知りたい」と向
学心旺盛だ。
(黒田昌平)



城跡の石垣前で島子孝一校長から義弘にまつわ
る話を聞く児童ら
— 始良市の豊富小学校

義弘、時代超えた魅力

関ヶ原の戦いで、敵中突破したことで知られる島津義弘。その勇猛さはまさに武將にふさわしいが、高徳のリーダーとしても慕われたというから、その人間的な魅力は尽きない。そんな人物を歴史の舞台から現代にゆみがえらせようと、大河ドラマ化実現へ向けた住民の動きも始まった。始良市や伊佐市、湧水町、霧島市にあるゆかりの地などを訪ねて、武將に思いをはせた。

島津義弘肖像画

尚古集成館所蔵



島津義弘の主な足跡

- 1535年 薩摩国伊作城で貴久の次男として誕生
- 1554年 大隅国岩剣城の戦いで初陣
- 1572年 日向国木崎原の戦いで大勝
- 1578年 兄義久とともに日向国高城・耳川の戦いで豊後国大友宗麟を破る
- 1587年 兄義久とともに日向国根白坂の戦いで羽柴秀吉軍に敗れる
- 1592年 嫡子久保とともに朝鮮釜山に出兵（文祿の役）
- 1595年 朝鮮より栗野へ帰り、帖佐に移る
- 1597年 朝鮮加徳島に出兵（慶長の役）
- 1599年 忠恒とともに朝鮮での敵味方戦没者供養碑を高野山に建立
- 1600年 関ヶ原合戦に西軍方として参加。敵中突破し帰国
- 居館を平松に移す
- 1606年 居館を加治木に移す
- 1607年 加治木にて死去。鹿児島福昌寺に葬られる。享年85歳
- 1619年 (始良市義弘公大河ドラマ誘致委員会資料から)

